

令和7年度学校通信

ハピネス(happiness):
子どもたちが日々“ハピネス(幸せ)”に浸ってられる、そんな明るく楽しい学校を目指します。子どもたちの姿をこの通信の中で、お届けしていきます。

山鹿市立三玉小学校
児童数:152人
文責:校長 北山 綾
令和7年4月9日(第1号)

ハピネス

令和7年度がスタートしました！

校務分掌等	氏名	校務分掌等	氏名
校長	北山 綾	養護教諭	坂本 夏妃
教頭	★大浦 嘉之	事務職員	上田 亜耶
教務主任	塚原 聡	教員業務支援員	松尾 珠貴
1年	新井 栞	サポートティーチャー	松尾 奈央
2年	★林田 美貴	主任栄養士	川口 早苗
3年	田淵 有紀	調理員	北村 裕美子
4年	★高本 悠希	調理員	竹下 恵
5年	城 拓史	調理員	鶴田 文香
6年	高木 真一	用務員	野堀 直光
すまいる1組	古川 裕子	用務員	原口 一弘
すまいる2組	鹿子木 美紀	★印は、転入者です。 	
すまいる3組	前田 洋子		
すまいる4組	松村 栄治		

学校教育目標

未来をになう人間性豊かでたくましい児童の育成

自らを律しつつ、他者と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心を育みたいという思いです。

学校経営方針

一人ひとりが輝く 子どもが主役の笑顔あふれる学校

子どもたちを、かけがえのない存在としてとらえ、愛情を持ち、児童理解に努めること。また、一人ひとりの違いを認め、良さや頑張りを見出し、伸ばしていくことについて先生方と確認してスタートしました。

始業式にて「自分から～」



校長のひとりごと

転入された先生方が「三玉小に来ることができて嬉しい。」と言ってくださいました。さらに、三玉小は、「挨拶が上手」「一生懸命に何にでも取り組む」「友だちを大切にする」と聞いていた。「下駄箱の靴がそろっていて、素晴らしい。」等々、たくさんほめていただきました。子どもたちの素晴らしさが伝わっていて嬉しく思いました。

校長室より・・・改めて自己紹介

新1年生の保護者の方もいらっしゃいますので、改めて自己紹介をさせていただきます。

北山 綾と申します。これまで、ずっと中学校に勤めておりました。小学校は、初めてです。専門は、英語です。海外旅行やバイクレースが趣味です。最近、タイニープードルを飼い始め、悪戦苦闘しております。子どもたちのそばにいて、一人ひとりの良さをしっかり見る校長でありたいと思っております。三玉小2年目の幸せをかみしめて頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

昨年度、保護者の皆さまや地域の皆さまのお力添えにより150周年記念祝賀会を終えることができました。いかに本校が地域に愛されているかを実感しました。ありがたいと感じる日々です。皆様、どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

始業式の校長講話で話したことです。最初に昨年度1年間で私が話したことを振り返りました。そして、次の話をしました。

新しい1年のスタートにあたり、合い言葉を考えました。

【自分から】…………この続き、みなさんなら何をしますか？

自分からあいさつする、考えをもつ、行動する、友達にやさしくする、外に出て元気に遊ぶ、安全に気をつける…いろいろ考えられることでしょう。ぜひ皆さんは新しいめあてを立ててそれぞれの【自分から】を探してください。「よーし、自分からできることを早速考えてやってみるぞ。」そういう気持ちだと嬉しいです。校長先生はこの学校をこんな学校にしたいと思っています。「笑楽幸」です。あれ！漢字が違いますね。私は、「しょうがっ・こう」をこの漢字に書き替えて、願いを込めました。どんな願いが分かりますか。

それは、「笑顔」、「楽しい」、「幸せ」です。学校が楽しいと思えば、自然と笑顔になり、それが続けば続くほど幸せな気分になれるのではないかなあと考えています。世の中には2つの「楽しい」があります。1つは、テレビを見たり、ゲームをしたり、ケーキを食べたり、遊園地で遊んだり、友達とおしゃべりしたり遊んだり、それだけでも楽しいこと。もう1つは、勉強やスポーツ、ピアノやダンス、なわとび一輪車、それから、授業で一生懸命考えて友達と問題を解決していくこと。練習して、失敗して、努力して、考えて、協力して、できるようになってようやく楽しいと感ずることです。頑張って、頑張って、努力してやっとできた楽しさって、いつまでも心に残りますよね。子どもたち一人ひとりの良さを認め、その子どもなりの成長や伸びを支えていく職員集団であろう！と先生方と4月2日に確認し、スタートした三玉小です。

